

ますます険しい 原価の坂を 必死に登る トラック運送 事業者には 荷主の皆様が 力強い後押しが 必要です



荷主ニーズに対応した
トラック輸送サービスを提供するために

国内貨物輸送の91%を占めるトラック輸送は、国民生活や産業経済活動に欠かすことの出来ない大切なサービスであり、また、緊急災害時の「ライフライン」としての役割を担うなど、その重要性はますます高まっています。

しかし、トラック運送業界の大部分は中小トラック運送事業者で構成され、9種類もの自動車関係諸税や世界一高い高速道路料金に加え、駐車規制や新たな環境対策・安全対策への対応など、コスト負担は年を追うごとに増大しております。さらに、平成16年春以来の原油高による燃料の著しい高騰が続いてきた中で、この秋以降の原油価格のさらなる上昇により、燃料価格もますます大幅な値上がり（インタンクで1リットル110円前後、16年春と比較して7割強の値上がり）となっており、今や多くのトラック運送事業者がギリギリの経営難にあえいでいるのが偽らざる実情であります。

現在の状況がそのまま、推移すれば、多くのトラック運送事業者において、経営の安定及び労働力の確保が困難となり、本来なされるべき、荷主ニーズに対応した「安心・安全なトラック輸送サービス」の提供に大きな支障が生じかねず、もはや、トラック運送事業者の自助努力だけではこれらの問題を解決出来ない出口の見えない厳しい状況となっております。

我々トラック運送業界が健全な経営を維持しつつ、荷主の皆様が安心・安全なトラック輸送を提供するためには、現下の深刻な状況をご理解いただき、原価の上昇に見合った公正な運送取引の確保の実現に向け、荷主の皆様の特段のご理解・ご協力をお願い申し上げます。